▲　今年も白い花が咲き、参詣者の目を愛でてくれました

慧光

金光寺寺報
第１５６号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
℡０９８２
８３－２３３８

今月のことば

深い悲しみ　苦しみを通してのみ
見えてくる世界がある　（平野恵子）

重い病気になったり、愛する人との別れや孤独、思い通りにならなかったりすれば、これらはいずれも苦悩に結びつきます。苦悩の原因はいろいろと考えられますが、その根本は煩悩にあると説くのが仏教の教えです。厳しい修行をして煩悩を断ったり、コントロールできるようになれば苦悩はなくなりますが、私たち凡夫にはなかなかできることではありません。また苦悩のどん底にあるときは、願望通りになることによって苦悩は解決すると考えます。新興宗教の勧誘に心が揺らぐのはそのような状態のときではないでしょうか。

浄土真宗の教えは、厳しい修行や願望が適えられることによって苦悩を超えていく教えではありません。親鸞聖人が『正像末和讃』に、

智慧の念仏うることは
　法蔵願力のなせるなり
信心の智慧なかりせば
いかでか涅槃をさとらまし
（『注釈版聖典』六〇六頁）

と讃えられるように、「信心の智慧」によって目覚めさせられる中に、煩悩に惑わされて優劣・善悪・損得ばかり重視していた見方の虚しさが知らされ、それに執われない心が具わってきます。

人生、思い通りに物事が運んでいる間は、中々自分をあてにする心は廃りません。逆に、思い通りにならないという苦悩を何度か体験していく中に、あてにしていた自分はあてにならないのではなかろうかということが少しずつわかってきます。人生での悲しみや苦しみも自分を知るための学びの場であり、そのときこそ聴聞の大きな機会でもあります。

（本願寺出版社刊「大乗」誌より転載）

金光寺よもやまコーナー

４月２６日（月）、梶原崇史さん・亜希さんご夫妻のご長男で、２０１４（平成２６）年４月２２日ご誕生の悠辰（ゆうしん）くんがご両親、お姉さんとご両家おじいさん・おばあさんに伴われ、初参式（初参り）に来てくれました。
健やかなるご成長をお念じ申し上げます。おめでとう。ございます。

５月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

２０１４年　５月１４日寂　満８６歳
原尾野　藤田昭吉　様
２０１４年　５月１５日寂　満６５歳
熊本市　甲斐幸三　様

ホームページ開いてます。
URL　http：//konkhoji.jp/
６月９日現在　アクセス数　７４，１６６人

仏教用語豆辞典

自然（じねん）

目に青葉
山ほととぎす初鰹

自然は躍動しています。この連休には、自然を満喫される方も多いことでしょう。

「自然」は、おのずからそうなっているさま、天然のままで人為の加わらないことをいう言葉ですが、英語の「ネイチャー」を「自然」と訳してからは、自然界、自然科学、自然主義、自然食品など、各方面で用いられるようになりました。

仏教では、「ジネン」と読み、人為を加えずに、おのずからそうなっていることを意味し、仏教の真理を表わす語です。

親鸞聖人は「自然法爾」を説きます。「救済は人間のはからいによって成立することではなくて、本願力の自ずからなるはからいによって、往生成仏せしめられることを自然といい」「自然と法爾を同義語とされた」と『注釈版聖典』（千五百頁）は解説しています。

自然環境の破壊が問題となっていますが、みなさんの心の中は大丈夫ですか。

（本願寺出版社発行
辻本敬順著
「仏教用語豆辞典一〇〇
パートⅡ」から）

住職ひとりごと

今月三日、鞍岡小学校二年生六人の児童が担任の先生引率で「鞍岡探検」と題して当山に来てくれました。当山来寺のきっかけは、朝、梵鐘を撞いて県道の落ち葉掃除をしていると、見慣れない人が近づいてきます。何事かと思っていると、「鞍岡小学校二年生の担任〇〇です。今度、子供たちが鞍岡探検をするのですが、神社の説明をしていただけないですか」と声かけがあったことによります。「私はこのお寺の住職で神社のことは説明できないのですが、当山に来られるなら、梵鐘を子供たちに撞かせますよ」と返答すると、少し困られた様子がうかがえましたが、後の言葉に心が動かれたのでしょう。当山訪問が決まりました。本堂でいくつか質問を受けた後、いよいよ鐘撞きです。まず、外陣にある大金を一人ひとりたたいた後、梵鐘へ。うれしそうに梵鐘を撞く姿は可愛らしいものでした。そう大きな音ではありませんでしたが、変な時間に梵鐘がなってびっくりされた方もあったのではないでしょうか。お許しください。

（住職　松井卓郎）

本山法統継承なる

六月六日、本山〈西本願寺〉のご門主が即如ご門主から専如新門さまへ継承される「法統継承式」が午前十時から執行され、西本願寺第二十五代の専如ご門主がご誕生になりました。併せて本願寺ご住職にもご就任になりました。

また、法統継承式に先立ち、六月五日午後三時半から即如ご門主の「退任に際しての消息」発布式と、阿弥陀堂・御影堂両門が閉門後の午後六時過ぎから「御譲渡式（非公開）」も行われました。

専如ご門主は、ご門主就任前新門さまの時に、「伝わらない時代に、何をなすべきか」というテーマで本願寺新報のインタビューを即如前門さまとお受けになりました。その中でこれからの活動として「全国各地に行くというのは大事だと思っています」とお答えになり、組巡教の重要性を認識していらっしゃることを明らかにされました。

まさに「新たな始まり」の先導をしてくださるご門主のご誕生は、宗門にとって新たな幕開けです。

【ご門主略年譜】

１９４５・昭和２０	ご誕生
１９６０・昭和３５	得度
１９７０・昭和４５	浄土真宗本願寺派新門就任
１９７４・昭和４９	東京大学大学院修士課程修了
１９７７・昭和５２	浄土真宗本願寺派第二十四代門主、本願寺住職就任
１９７８・昭和５３	全日本仏教会第十三期会長就任（十八期、二十五期も会長就任）
１９８０・昭和５５	即如門主伝灯奉告法要
１９９６・平成８	全国教誨師連盟総裁就任
２００６・平成１８	日本国際連合協会京都本部本部長就任
２０１４・平成２６	法統継承で前門、本願寺前住に

◇**主なご著書**　『朝には紅顔あって』（角川書店）、『世のなか安穏なれ―現代社会と仏教』（中央公論社）、『愚の力』『今を生かされて』（文藝春秋）、『今、ここに生きる仏教』（共著・平凡社）、『すくいとよろこび』『願いの力』（本願寺出版社）

【新門さま略年譜】

１９７７・昭和５２	ご誕生
１９９２・平成４	得度（新門）就任
１９９３・平成５	大谷光淳新門立嗣奉告法要
２００３・平成１５	浄土真宗本願寺派仏教青年連盟総裁就任
２００５・平成１７	龍谷大学大学院博士課程単位取得
２００８・平成２０	築地本願寺副住職就任
２０１０・平成２２	ボーイスカウト日本連盟特別顧問就任
２０１４・平成２６	法統継承により浄土真宗本願寺派第二十五代門主、本願寺住職に

法語の世界

《原　文》

御前まゐり候ふ時には、御合掌ありて、如来・聖人（親鸞）の御用にて衣食ふよと仰せられ候ふ。

（蓮如上人御一代記聞書　百六十九）

《現代語訳》

蓮如上人は、お食事を召しあがるときは、まず合掌されて、「阿弥陀如来と親鸞聖人のおはたらきにより、着物を着させていただき、食事をさせていただきます」と仰せになりました。

《用語の解説》

衣食ふ……着物を着、食事をいただくこと。

第六十四回高千穂組仏教夏季講座のご案内

とき　平成二十六年七月二十三日（水）
ところ　五ヶ瀬町三ヶ所　浄専寺
ご講師　福岡教区　志摩組　海徳寺住職　浄土真宗本願寺派布教使　松　月　博　宣　師
持参品　経本・念珠・門徒式章・筆記具・お茶
その他　金光寺から十名参加の予定です。参加を希望される方は金光寺までお申込み下さい。

初盆をお迎えになられるご家庭へ

昨年、８月以降に身近な方がお亡くなりになられ、本年、初盆をお迎えの皆さま、寂しいお盆をお迎えになられることと存じます。

鞍岡地区では、ご親族やご縁のあった地域の方などをお迎えして初盆会法要をおつとめになる風習がありますが、本年、そのような形で法要をお考えのお宅は、早めにご連絡ください。連絡いただいた順にご希望の時間で法要を設定いたします。

なお、次の時間は法要が決まっております。

記

８月１３日　午前１１時・正午
　　午後１時・午後２時
　　午後　３時
８月１４日　午前１０時
　　午前１１時
　　午後　３時